第61回滋賀県硬筆作品展覧会に出品しましょう。

前回の展覧会の優秀作品です。文章、字句は自由です。気軽に出品下さい。

作品例

幼

てつだい

たていりせきおかしずく

小二

雨がふったので
赤いかさをさした。

小三

いまづきた二年 前川せいた

友だちにおくる
絵葉書ができた。

小四

しずかに先生の
話を聞きました。

マ西 四年 今井杏菜

小五

時計台の美しい
写真に感動する。

世田北小 三年 谷川ま名と

小六

長浜 五年 矢島 心暖

夜空を見上げると、またたく星の間を、白い雲がまるで川のように流れて行った。

青山小 六年 中田 麻衣花

中一

若葉 青松 歌曲 道路
和光 早足 太陽 初夏

彦根東中 一年 松本 若菜

中三

理想は精神による秩序の予見である。（アミエル）
真の芸術は作品の背後に人間を求める。（ジイド）
多感ある人は時間の損失を最も悲しむ。（ダンテ）

県立守山中 3年 大森 結香

高二

もう一冊は、この視点からそれぞれの距離を扱って展開するもので、比較的に平面の広がりをもつ作品になっていた。作品も現実性を原理として追求せず、より純粋世界として書かれ、今回の課題文字の間に、東洋のあの文字それぞれを構成するあの線の間に視覚的緊張感を生み出すことを目的としていた。東洋的関連が成立するには、その線は、ただなんとなく、書かれた文字の中にあの存在するではなく、我々の感覚によって区切られた空間全体の中に存在するべく入字を書くことによって、漢字という文字の空間がもつ芸術的な雰囲気を表現しようとしている。

伊吹高 二年 大谷 英華

小一

あさがお
のきた一ねんなかむらみお

小二

子どもの日に、
ちまきをたべた。

ひらの 二年 うえ木まこ

小三

雨上がりに大きな
にじを見た。

マ東 三年 高木ゆいな

小四

銀の絵の具を使い
流れ星をかく

笠ぬい 四年 藤塚和奏

小五

水平線のかなた
に、しずむ太陽。

安土 五年 門阪莉音

小六

歌川広重は、独特の構図と青色が美しい作品で西洋の芸術家に高く評価されている。

長南 六年 平山勇心

中二

古来より厄除けとして飾られた風鈴は江戸時代ガラスの伝来によって目や耳に涼を呼びこむ夏のアイテムへと変化しました。現代ではガラスのほかに鉄物や陶などでもつくられています。

彦根南 2年 中島 瑞葉

高一

品川 羽田 社協 森羅
林野 陽炎 桂皮 結晶
立命館 一年 談 恵佳

名人もプロになったからには目指すべきものですし、強くならないと見えない景色があると思いますので、そこにむかうように頑張りたいです。

寺山 3年 青山 咲穂